

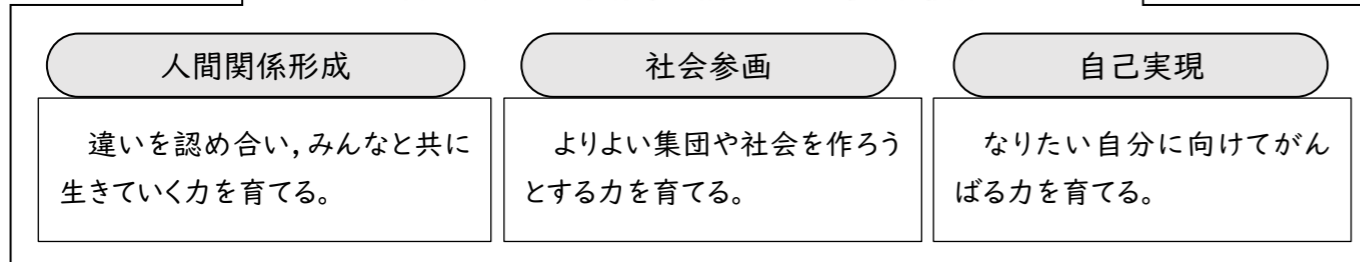
研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

議題 「クラスがたのしくなるかかりをきめよう」 (1)イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点



2. 第1学年及び第2学年における評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、元気よく挨拶を返したり、気になることや思ったことを人に伝えたり、積極的に人と関わろうとする姿が見られる。また、学級の当番活動等にも意欲的で、初めてのことに物おじせず積極的に活動できる。1学期は相手の気持ちを考えることができず、自分の思いや考えだけで行動しトラブルになることが多くあった。しかし2学期からの当番活動を行うなかで、自分の仕事に責任をもって取り組む力や、友達と声を掛け合い助け合いながら取り組む力が少しずつ育まれ、児童同士のトラブルも少なくなってきた。一方で、決められた仕事や当番はきちんと取り組むが、自分の当番以外は目を向けず、学級をよりよくしようと進んで行動する姿は少ない。中には、集団の一人としての意識が低く、人任せにしている児童もいる。

学級活動については、1学期は「みんなでなにかをするのは楽しい」という経験をさせるために話し合い活動を行ってきた。「みんなが仲良く、楽しくなるためにやってみよう」と出し合い、学級会は話し合っ決まったことをみんなでできる時間という経験を積み重ねるために、一時間の中で話し合い、実践、振り返りを繰り返し行っ。始めは教師がモデルとなり話し合いを進めてきたが、児童たちに司会と副司会を任せ話し合いを行ってきた。自分の考えをもつこと、それを発表することなどに抵抗を感じている児童も多かったが、少しずつ「話し合い」の流れを理解し、ほとんどの児童が話し合いに参加でき始めた。話を聞くことは、会を重ねるごとに少しずつできてきている。しかし、友達の意見を聞き、その意見に対して質問したり、不安なことを伝えたりする力はまだ弱い。さらに、自分の意見を伝えることに恥ずかしさを感じたり、理由を付けて話すことを難しく感じて言えなかったりする児童や、友達の意見を受け入れられず話し合いから外れようとする児童もいるという現状がある。

2学期はこれまで「〇〇さんよろしくねのかいをしよう」で転入生と仲良くなるレクを考え実行したり、「かかりかつどうをしよう」で初めての係活動に取り組んだりしてきた。話し合いを行う際、自分の気持ちだけを発言するのではなく、「〇〇さんと仲良くなるために」や「クラスのみんなのために」などと相手を意識した発言も見られ始めた。クラスの一員としての意識をもち過ごせるようになってき始めた10月中旬には「かかりかつどうをしよう」で初めての係活動に取り組んだ。他学年の係活動の様子を紹介し、自分たちがクラスをよくするためにやってみよう係りを決め実践してきた。しかし、自分がやりたいことが中心になってしまい、他の児童と協力して取り組むことや、クラスをよくするために活動するという意識は薄いように感じている。

(2) 議題選定の理由

前回、「係活動にチャレンジしよう」ということで話し合い、初めての係活動に取り組んだが、どうするとクラスが楽しくなるのかを十分に考え活動することができていなかった。そこで、本議題は計画委員会において、「1学期のレクのように、クラスを楽しくしたい」という考えのもと、選定されたものである。前回の係活動についての振り返りで、「友達と協力して係活動ができた。」「友達と係をするのは楽しかった。」などの振り返りが見られた一方、「係活動ができなかった。」「何をしたらいいのかわからなかった。」などの振り返りも見られた。今回の話し合いでは、これまでに実施してきた話し合いと同様にクラスが楽しくなるように考える中で、係活動に対する自分の考えをもち、発表したり友達に伝えたりすることができるようにしたい。また実施後に「前よりもクラスが楽しくなった」「次は〇〇な係をやってみよう」と児童が意欲をもって取り組める活動にしたい。

4. 指導と評価の計画

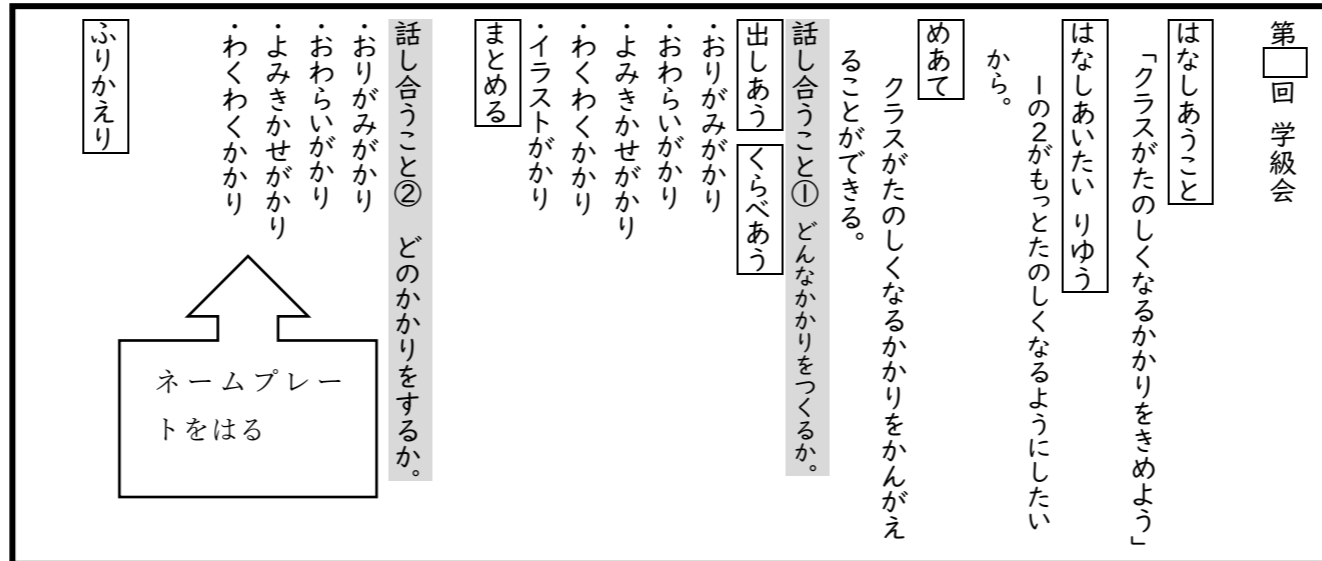


日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
11月15日(火) ①昼休み ②帰りの会	①議題の決定計 ・話し合う議題を決める。 ②議題の周知計 ・提案理由を明らかにして、学級全員に伝える。 ・どんな係があるといいか学級全員から意見を集め、学級会コーナーに掲示する。
11月17日(木) ③昼休み ④帰りの会	③役割分担計 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ④案募集学 ・学級会ノートに自分の考えを記入する。
11月21日(月) ⑤昼休み	⑤学級会のシュミレーション計 ・進行、板書をイメージしながら確認し、話し合いの見通しをもてるようにする。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎よりよい学級生活づくりのための見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度) 【学級会ワークシート・観察】
◎「クラスがたのしくなるかかきをきめよう」の目的に合った考えを考え、判断し学級会ノートに書いている。 (知識・理解) 【学級会ワークシート・観察】

本時のねらい クラスが楽しくなる係と工夫を考えることができる。		
話し合いの順序	気をつけること ○留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認	・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。	
クラスがたのしくなるかかきをきめよう		
4 提案理由の確認 5 めあての確認 6 決まっていることの確認	・提案者の思いや願いが伝わるよう、事前に背面黒板に記入して学級全体で周知しておく。 『クラスがたのしくなるかかきをきめることができる』 ・決まっていることを確認する。 ★みんながたのしくなるかかきをつくること ★3人いじょうでかつどうすること	
7 先生の話	○前時までの取り組みのよかったところと期待を伝え、本時の意欲を高める。	
8 話し合い 話し合うこと① 「どんなかかきをつくるか。」 話し合うこと② 「どのかかきをするか。」	○前回の係の取り組み方を振り返り、クラスをもっとよくするには必要な係は何か考えさせる。 ○「出し合う」で出た係は、具体的な活動方法や内容等を全員で共有し、理解できているか確認しながら話を進められるようにする。 ○司会が進行に困ったときや話がずれたり意見が止まったりした時には、前の人の意見を確認して、話し合いがつながるようにする。 ○必要に応じて、提案理由に沿ったものかどうか、考えられるよう助言する。	◎クラスが楽しくなるには、どんな係があるといいか、発言したり、友だちの意見を受け止めながら聞いたりしている。 (思考・判断・表現) 【観察・発言】
9 決まったことの発表 10 振り返り	○自分自身や友だちの成長したところや次に繋がる課題等について書いてある振り返りを紹介する。	
11 先生の話	○自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いて考えたりしていた児童を称賛する。	
12 おわりの言葉	・実践への意欲が高まるように言葉掛けを行う。	

5. 板書計画



日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
11月29日(火) ①学級活動	①係活動の内容を考える学 ・クラスが楽しくなるような活動内容(いつ・どんなことをするか等)になるように助言する。 ・係ごとにめあてを決めさせて取り組めるように助言する。
11月30日(水) ②帰りの会	②決まったことを知らせる計 ・学級会で決めた要点をまとめて伝えられるよう助言する。
12月1日(木) ③休み時間 朝の会等	③活動の実施学 ・ねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫したりして活動している児童を称賛する。
	④振り返り学 ・係ごとに決めためあてに基づいた振り返りを行う。 ・自分の役割や友だちの良さについても振り返り、自他の頑張りを認められるよう助言する。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎「クラスがたのしくなるかかきをかんがえよう」を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 (主体的態度) 【行動観察】
◎活動のめあてを意識し、友だちと協力して取り組んでいる。 (思考・判断・表現) 【行動観察・振り返りカード】